

緊急事態宣言解除！

気がつけばいつの間にか世界は6月になりました。日本も、イタリアやニューヨークのように感染が拡大するかもしれないと言われながら、なんとか持ちこたえました。学校は人がほとんどいない状態で3ヶ月が過ぎました。4月7日に発出された緊急事態宣言はひとまず解除されましたが、その後も東京や北九州で感染者数が2桁を記録する日が続くなど、まだまだ予断を許さない状況です。

そんな中ですが、今日をひとまず今年度2回目の登校日とすることができました。宣言の継続されている間、ずっと家の中にいた人がほとんどで、この日が待ち遠しかったことでしょう。LINEやZoomで友達の様子を見てはいても、やはり実際に会って話をするのとは違いますよね。ただ残念ながら明日からまた普通の日々というわけにはいきません。遠くから公共交通機関を使って登校している人も多いため、まだ焦らずに様子を見ながら徐々に再開していくこととなります。

学校再開へ向けて

今日は学年・出席番号による分散登校という形になりました。どの教室にも人は半分しかいませんし、学年毎に登校時間帯や下校時間帯がずれるように設定されています。これはみんながお互いに接触する人の数を抑えられるようにということなので、下校時も他のルームの人を待たず、寄り道も最小限にして帰宅してもらえると嬉しいです。

明日から2週間は、また家庭学習やオンライン授業ということになります。生活科学科は実技科目があるので何日かは登校することになります。福祉科は本来ならばこの時期に施設実習に行っているはずだった分の代替りの授業になります。普通科はこれまで午前中は送られてきた課題を自分で勉強し、午後はオンラインサポート授業ということでしたが、明日からは午前3時間午後1時間のオンライン授業となります。

12日(金)までその形で様子を見て、再度緊急事態宣言が出されたりすることがなければ、15日からは登校して学校で授業をすることになる予定です。15日からはお弁当なしで午前中3時間の授業、22日からはお弁当ありで7時間授業ができるというところまでです。

学校で授業ができるようになれば、まだなんにも決まっていない、委員会やルームの係のことをしたり、身体測定や健康診断をすることができるようになるでしょう。部活動については、早く再開したい気持ちはいっぱいですが、もう少し待ってください。3年生と一緒に活動できる時間ももうほとんど残っていないので、早くしてほしい人も多いことでしょう。

体育祭は神無祭などの行事についても、学校がまともに再開できる時期によって話が変わってきますので、現段階では中止とも縮小とも言えません。なんとかうまくできると思います。

今できることをしっかりと

日本どころか世界中が混乱の中であって、まったく先が見えない状況です。近いところ言えば、今後の進学や就職の日程や方法がどのようになるのかわからず、3年生は気が気ではありません。とりあえず来年度の9月入学というのはなくなったようですが、入試の時期を遅らせる、出題範囲を狭めるといった話も出てきて、今後の議論の推移を見守る必要があります。

先の見通しの利かないこの時期に、家で一人で勉強していると、何をやっても意味が見いだせなかったり、すべてムダに思えてしまったりすることもあります。逆に家の中にいることしかできないからこそ、その間に力を蓄えておくことに専念できるというものです。

どのようなウイルスなのかを調べれば生物の知識が得られるでしょう、どのような消毒方法が有効かを考えれば化学の知識が、なぜ日本の緊急事態宣言は罰則のある行動規制じゃないのかを考えれば公民や日本史、中国と香港の緊張した状況を調べれば世界史、PCR検査の際の偽陽性や偽陰性がどのように現れてくるかを考えれば確率(統計)、アマビエなどの古い妖怪のことを調べれば古典、というように、目の前に勉強の材料はたくさん転がっています。情報が流れてくるのに任せては、いつか偽りの情報が流れてきてもわかりません。正しい判断をするために、今は自分の知識をどんどんアップデートしていきましょう。

後記 自粛に疲れてしまった人が多かったのか、先週は街を歩き交う人もだいぶ増えていた印象です。でもまだ3月中旬くらいの状況に戻っただけなので気をつけたいといけません。